

| | | | |
|--|---------------|-----|-----------------|
| 番号 | 3 - 25 | 申請者 | 腫瘍内科医長 浦本 秀志 |
| <p>【審査申請課題】 非小細胞肺癌における薬物治療耐性後の個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究(LC-SCRUM-TRY) Ver2.0</p> | | | |
| <p>【審査課題の概要】 本研究は、薬物治療に耐性となった非小細胞肺癌患者を対象に体細胞遺伝子異常のスクリーニングとモニタリングを行い、薬剤耐性となった腫瘍の臨床病理学的、分子生物学的特徴や薬剤耐性の分子機序を明らかにするとともに、特定された薬剤耐性に関する様々な情報を本研究へ参加する研究機関（アカデミア、企業を問わない）へ提供することによって、耐性克服を目指した治療開発および診断薬開発を推進し、非小細胞肺癌における個別化医療の発展へ貢献していくことを目的とする。 なお、本研究は、2013年2月～2019年8月に実施した「RET融合遺伝子等の低頻度の遺伝子変異陽性肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究」（以下、「RET肺癌等の前向き観察研究」）、及び2019年6月から開始した「アジア人の非小細胞肺癌における個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究」（以下、「アジア人肺癌の前向き観察研究」）で構築された東アジアの肺癌遺伝子スクリーニング基盤（LC-SCRUM-Japan/Asia）も活用して行う。本研究に参加された患者のうち、「RET肺癌等の前向き観察研究」または「アジア人肺癌の前向き観察研究」に登録され、先行する二つの研究のいずれかで試料と情報の二次利用について同意が得られた患者については、その研究データと、本研究で得られた臨床情報・遺伝子検査の結果を統合して解析する。</p> | | | |
| 審査結果 | 承認（令和3年8月12日） | | |